

文部科学省研究開発学校 4年次(最終年度) 研究発表会

研究テーマ

小学校の通常の学級に在籍する
学習上の困難さを有する児童に対する
特別の教育課程の在り方に関する研究



豊能町立東ときわ台小学校

豊能町の紹介

INTRODUCTION

アクセス

人口

総人口 19,441人

世帯数 8,648世帯

令和元年8月末日現在

豊能町
TOYONO TOWN

大阪府
OSAKA
PREF



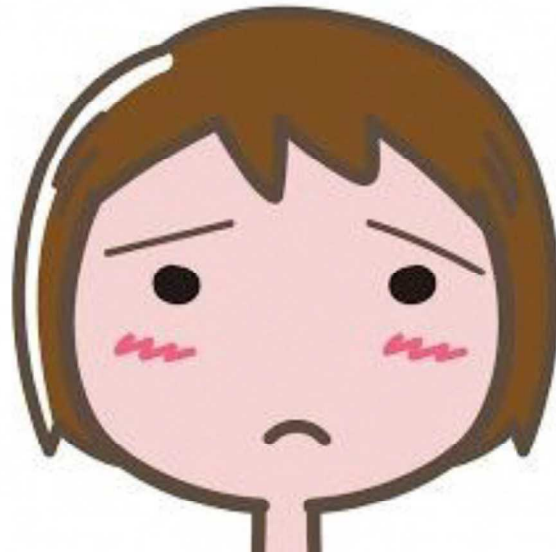
・研究開発課題

「小学校における障害のある児童のための障害の特性に応じた教育内容、指導方法及び評価の在り方についての研究開発」

《研究の概要》

小学校の通常の学級に在籍する児童（通級による指導対象者を除く）のうち、発達障害等のある児童を含めて、学習上の困難さを有する児童に対する特別の教育課程の在り方に関する研究を行う。

通常学級に在籍する 困難さのある児童



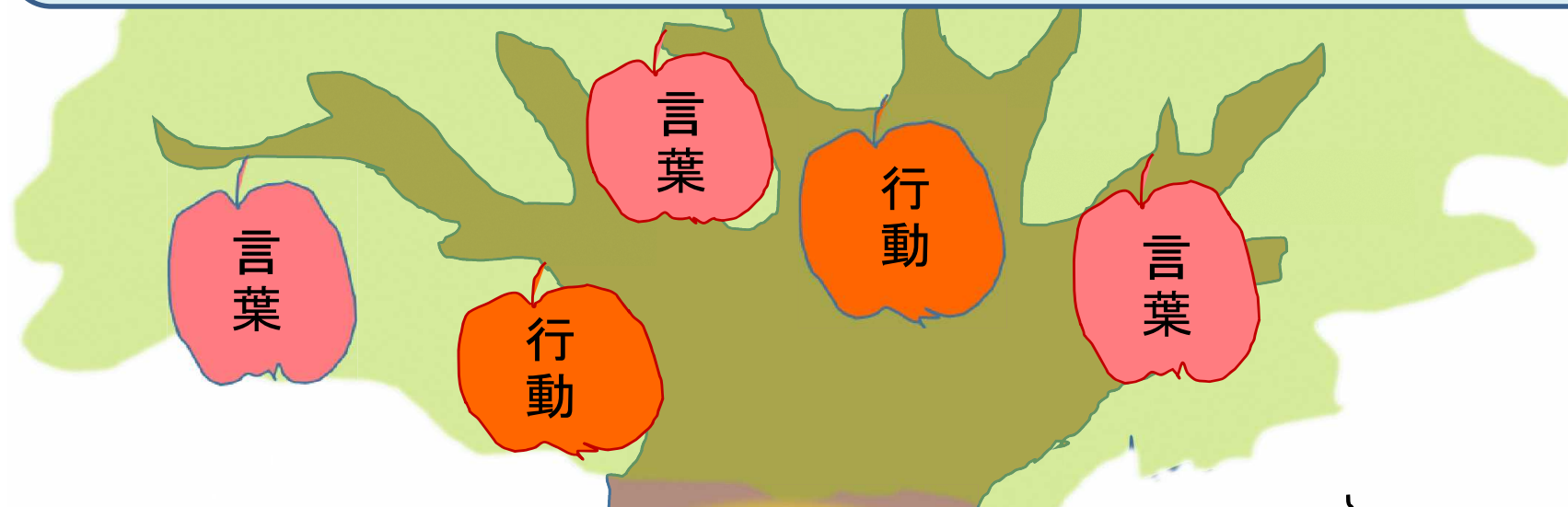
わたしたちにできることは
何だろうか??

困難さのある児童だけではない



子どもたちの実態を話し合う中から

多様な他者との交流をとおして人間関係形成・自己実現等



身体感覚を中心とした活動

ことばのやりとりを中心とした活動

記憶や情報伝達を中心とした活動

土台を育てる



通常学級に在籍する困難さ
のある児童

自立活動
(6区分27項目)
の内容を付加

特別活動
「特別の時間」
のびのび

個別の指導シート

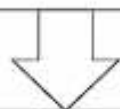


【学校教育法第72条】



特別支援学校の目的

「特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習又は生活上の困難を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。」



自立活動は、後段をうけて、特別支援学校の目的を達成するために設定された指導領域である。各教科等の指導の基盤を形成するものであり、各教科の指導の効果を上げるためにも重要な指導である。

大阪大谷大学 小田浩伸先生 研修会資料より

特別支援学校の教育と自立活動の位置付け

学校の教育活動全体を通じて、幼児児童生徒の人間として調和のとれた育成をめざす

系統的
段階的

発達段階に即した・考慮した内容(教科等)

小中学校等の教育

自立活動

6区分・27項目

分類・整理

- ・基本的な行動を遂行するために必要な要素
- ・困難を改善・克服するために必要な要素

障害による学習又は生活上の困難を改善・克服するために必要な指導(自立活動)

特別支援学校の目的(学校教育法第72条)

前段「幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施す」

+

後段「障害による学習又は生活上の困難を改善・克服するために必要な指導を行う」

自立活動の内容について

<6区分27項目>

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 健康の保持(4項目) | 2 心理的な安定(3項目) |
| 3 人間関係の形成(4項目) | 4 環境の把握(5項目) |
| 5 身体の動き(5項目) | 6 コミュニケーション(5項目) |

分類・整理

人間としての基本的な
行動を遂行するために
必要な要素

障害による学習上又は
困難を改善・克服する
ために必要な要素

「のびのび」の設定

1年生	12時間	(1-6年 3時間	1, 2年	9時間)
2年生	12時間	(2-4年 3時間	1, 2年	9時間)
3年生	15時間	(3-5年 3時間	3, 4年	12時間)
4年生	15時間	(2-4年 3時間	3, 4年	12時間)
5年生	3時間	(3-5年 3時間)		
6年生	3時間	(1-6年 3時間)		

*5年生 6年生については、学校行事で、全体での縦割り活動運営に発展
活動はじめの1年生や 3年生と活動をする時間にする

*1年生については、実態把握と学校生活に慣れる期間を大切にするために12時間

*中学年については、1, 2学期 6回 3学期 3回 4, 3月を省いてできる限り均等に

「のびのび」の時間だけで、とりくむのではない

他の教科等、学校教育活動のなかでも、意識してとりくむ



通常学級に在籍する困難さ
のある児童

自立活動
(6区分27項目)
の内容を付加

ねらいの変更

教科等
国語科から

個別の指導シート

国語科において付加した 自立活動の内容について

- ・時間ごとの手立ての有効性、児童の様子
の記録
- ・単元ごとの手立てと児童の評価

「特別の時間」(のびのび)に おいて付加した自立活動の内 容について

- ・時間ごとの手立ての有効性の記録
- ・活動ごとの手立てと児童の評価

気になる児童についての 気付き

教科等の指導・学校生活
での指導の中での手立
てと児童の様子

PDCA会議

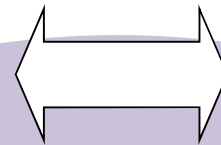
- ・児童の実態の把握
- ・児童理解の共有化
- ・手立ての有効性の検討・改善
- ・個別の指導シートの改訂
- ・個々の児童の課題の把握
- ・付加する自立活動の内容
についての検討・改善
- ・気になる児童についての共通理解等

手立ての評価
児童の変容の把握

基礎的環境整備

- 温かい学級・
集団づくり
- ・ 居心地のいい
- ・ 安全・安心な環境
- ・ つながり
- ・ 自己有用感のある

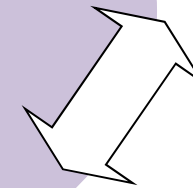
人権生指部
行事健康部



- ☆ 「だれもがわかる」
授業づくり
- ・ 自立活動の内容を
とり入れた授業づく
り
(国語科から)

授業研究部

「特別活動」
のびのび



- 個に応じた指導をめざして
- ・ 児童の困難さ・実態把握

自信をもっているところや
得意なところの把握も！！

人権生指部

児童の実態把握

- ・児童の実態及び課題把握
- ・個別の指導シート作成
- ・安心できる学級環境づくりのための学級集団実態調査
- ・安心できる集団づくり
- ・学校生活アンケート・社会性測定用尺度アンケートの実施及び分析
- ・PDCA会議の実施

児童の実態把握 気づきのチェックシート

児童実態把握 気づきのチェックシート例

下記のチェックを参考に、学級内で気になる子どもを選び、作成してください。下記のチェック項目が全てではありません。それ以外であっても、気になる点があれば自由記述してください。

回答数：① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

年 組 記入者名 (A・B・C・D・E・F・G・H・I・J)

学習面	行動面① (多動・不注意)	行動面② (衝動性)	その他③ (感覚)	その他④ (感覚)
1. 読みに困難がある。	7. 絶えず体が動き、落ち着きがない。	13. 友達への悪言・暴言。	19. とりかたりに時間がかかる。	25. 虐待が疑われる。
2. 読意が少ない。	8. 授業中に離席がある。	14. こだわりが強い。	20. 細かい作業が苦手や不要。	26. 生活指導上の問題行動があった。
3. 計算や九九が苦手。	9. 集中できない。	15. 友達とのトラブルが多い。	21. 一言指導で聞き返しがある。	24. 暴行しどりの不登校があった。
4. 書きに困難がある。	10. 整理整頓が苦手。	16. 友達間話を聞くことが苦手。		
5. 主体的に学習干渉。	11. 忘れ物が多い。	17. コミュニケーションが苦手。		
6. 推論することが苦手。	12. おしよへりがやめられない。	18. 共感性が乏しい。		

氏名	気づき (気になること) の番号																合理的配慮	診断	見立て(支援策)	支援体制								
1. A 学習 多動・不注意 衝動性、感覚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	注意集中及び視力・視運動の課題から座席はできるだけ前の列に配席する。	ADHD	注意集中が続くように適宜声掛け、視覚支援も利用。最悪になると他児も	通級
ストラテジー活用中。夜尿。																												
2. B 学習 多動・不注意	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	補充プリント			大塚学級 在籍
(人と接する時の距離が近い、自分を「僕」と言う)																												
3. C 多動・不注意 衝動性 感覚	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	視覚支援 繰り返し指示 見通しメモ			特別支援
(人と接する時の距離が近い、自分を下げる発言をしていた)																												

まずは、各教職員が、日頃の行動観察を通して感じている、目に見える児童の困り感を、チームで共有・分析しました。



困難さの傾向を探る、文科省チェックリスト

☆学習☆

学年		○年	○年	○年	○年	○年
児童名		A	B	C	D	E
聞く	聞き間違いがある(「知った」を「行った」と聞き違える)	3	3	3	1	0
	聞きもらしがある	0	0	3	2	0
	個別に言われると聞き取れるが、集団場面では難しい	3	3	3	2	0
	指示の理解が難しい	0	0	3	3	2
	話し合いが難しい(話し合いの流れが理解できず、ついていけない)	3	2	3	3	2
		9	8	15	11	4
話す	適切な速さで話すことが難しい(たどたどしく話す・とても早口である)	2	0	0	1	0
	ことばにつまったりする	1	0	1	3	1
	単語を羅列したり、短い文で内容的に乏しい話をする	0	2	2	3	1
	思いつくままに話すなど、筋道の通った話をするのが難しい	2	0	0	3	3
	内容をわかりやすく伝えることが難しい	3	0	1	3	0
		8	2	4	13	5
読む	初めて出てきた語や、普段あまり使わない語などを読み間違える	1	3	0	3	3
	文中の語句や行を抜かしたり、または繰り返し読みだりする	3	3	0	0	2
	音読が速い	1	3	0	0	3
	勝手読みがある(「いきました」を「いまして」と読む)	3	3	0	2	3
	文章の要点を正しく読み取ることが難しい	3	3	1	3	3
		11	15	1	8	14
書く	読みにくい字を書く(字の形や大きさが整っていない・まっすぐに書けない)					2
	独特の筆順で書く		3			1
	漢字の細かい部分を書き間違える	3	3			3
	句読点が抜けたり、正しく打つことができない	2	3	3	1	3
	限られた量の作文や、決まったパターンの文章しか書かない	3	3	3	3	3
		8	15	15	13	12
計算する	学年相応の数の意味や表し方についての理解が難しい(三千四十七を300047や347と書く・分母の大きい方が分数の値として大きいと思っている)	0	0	3	2	3
	簡単な計算が暗算できない	0	2	0	1	1
	計算をするのにとても時間がかかる	3	0	0	2	3
	答えを得るのにいくつかの手続きを要する問題を解くのが難しい(四則混合の計算・2つの立式を必要とする計算)	3	0	0	2	0
	学年相応の文章題を解くのが難しい	0	0	1	1	1
		6	2	4	8	8
推論する	学年相応の量を比較することや、量を表す単位を理解することが難しい(長さやかさの比較・「15cmは150mm」ということ)	0	0	3	0	3
	学年相応の図形を描くことが難しい(丸やひし形などの図形の複写・見取り図や展開図)	0	0	1	1	2
	事物の因果関係を理解することが難しい	0	0	0	2	3
	目的に沿って行動を計画し、必要に応じてそれを修正することが難しい	0	0	2	3	3
	早合点や、飛躍した考えをする	0	0	2	2	3
		0	0	8	8	14
総ポイント数	42	42	47	61	57	
支援度						
主たる 課題						

気になる児童の具体的な困難さの傾向と、要支援度も確認し、環境や支援の内容が適切であるかを見直しました。



大阪府教育センター アセスメントシート

学級集団と一人ひとりのリソースと課題を、シートにまとめました。



年 組
「学級集団の状況アセスメントシート」(平成25年4月版)

4-2【小・中学校】学習・行動面の状況		配慮の必要 大 ← 1 2 3 4 5 大 学年相応 (不明:0)																
○○	小学校	○	年	○	組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
						聞く	話す	読む	書く	計算する	推論する	運動	器用さ	注意集中	多動・衝動性	興味関心の幅	コミュニケーション	対人・社会性
1						3	3	3	3	3	5	5	5	5	3	3	3	3
2						3	5	1	3	3	5	2	3	5	3	3	1	3
3						2	5	3	3	2	5	3	3	1	3	3	2	3
4						5	5	2	3	3	3	1	3	3	2	3	3	3
5						2	3	3	5	3	5	4	5	3	5	1	2	3
6						3	5	2	4	3	3	4	3	5	3	3	3	3
7						4	5	2	3	3	2	4	3	3	3	5	3	3
8						3	3	3	3	3	5	4	3	3	1	4	3	3
9						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
10						3	3	3	2	2	5	3	3	2	2	2	3	3
11						3	3	2	3	3	3	5	3	3	3	3	3	3
12						3	3	3	1	5	5	4	2	3	3	2	3	3
13						1	5	3	3	3	3	4	2	4	3	3	4	5
14						4	4	3	3	1	3	5	2	3	3	1	4	5
15						2	4	3	3	4	1	3	3	4	3	3	4	5
16						3	4	3	3	4	5	1	3	3	2	5	4	5
17						3	4	5	2	4	1	1	2	3	3	2	4	1
18						3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
19						4	2	1	3	3	3	3	5	5	3	3	3	5
20						4	3	3	3	3	5	5	3	3	3	5	1	1
21						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
22						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
23						3	1	4	3	3	3	3	3	3	2	3	3	1
24						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
25						3	5	3	3	3	3	3	2	3	3	3	4	3
26						2	4	2	3	3	3	3	3	3	3	5	4	3
27						2	3	3	3	3	3	3	3	3	5	3	4	3
28						2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	3
29						3	3	2	3	3	5	1	3	3	3	3	4	3
30						3	3	1	5	2	4	3	3	3	5	3	4	3
31						5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
32						3	3	3	3	3	1	3	3	3	3	2	5	5
33						3	4	4	1	3	4	1	3	3	3	3	2	4
34						5	3	3	3	3	3	3	5	3	3	3	3	3
35						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
36						3	1	2	1	2	4	2	1	2	5	1	3	2
37						3	1	3	5	3	5	3	3	3	3	5	2	4
38						3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
39						2	5	3	3	5	1	3	3	5	3	3	2	3
40						2	1	1	2	2	4	4	3	3	2	4	5	5

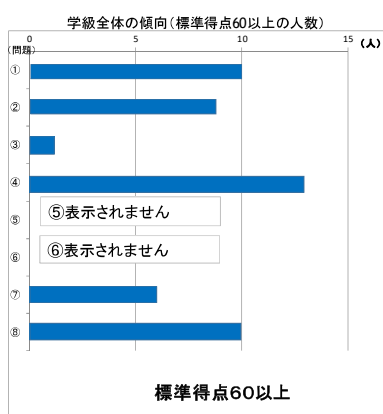
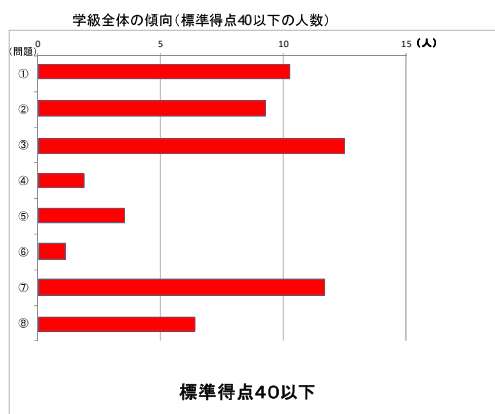
sample

岡山県総合教育センター アセスメントパック

○年 ○組		標準得点		②(書き写そう)				③(見た数を答えよう)		④(説明を聞いて答えよう)		⑤(何の絵でしょう)				⑥(形を写そう)		⑦(〇らがなを見つけよう)				⑧(聞いた数を答えよう)			
番	氏名	40以下	60以上	総計	計	特殊	総計	標準得点	計	標準得点	計	標準得点	1	2	3	計	標準得点	計	正	誤	無	計	標準得点	計	標準得点
1	A	2	0	20	1	3	16	35.9	4	46.9	3	59.7	4	4	4	12	54.0	2	10	1	5	4	24.7	5	56.4
2	B	4	0	20	5	2	13	32.4	1	31.5	2	48.4	3	4	3	10	38.3	2	11	0	4	7	29.3	5	56.4
3	C	4	0	20	1	1	18	38.2	3	41.8	1	37.1	2	4	4	10	38.3	2	12	1	3	8	30.9	3	42.4
4	D	5	0	20	5	3	12	31.3	2	36.7	3	59.7	1	4	3	8	22.6	2	13	0	2	11	35.4	4	49.4
5	E	6	0	20	1	2	17	37.0	1	31.5	2	48.4	0	4	4	8	22.6	2	14	1	1	12	37.0	1	28.5
6	F	3	1	20	1	1	18	38.2	5	52.1	1	37.1	4	4	3	11	46.1	2	15	0	5	10	33.9	8	77.3
7	G	2	1	20	5	3	12	31.3	8	67.4	3	59.7	3	4	4	11	46.1	2	16	1	4	11	35.4	4	49.4
8	H	3	2	20	1	2	17	37.0	10	77.7	2	48.4	2	4	3	9	30.4	2	17	0	3	14	40.0	7	70.3
9	I	5	1	20	5	1	14	33.6	11	82.8	1	37.1	1	4	4	9	30.4	2	18	1	2	15	41.6	2	35.5
10	J	3	2	20	1	3	16	35.9	10	77.7	3	59.7	0	4	3	7	14.7	2	19	0	1	18	46.2	6	63.4
11	K	3	0	20	1	2	17	37.0	0	26.4	2	48.4	4	4	4	12	54.0	2	20	1	5	14	40.0	5	56.4
12	L	5	0	20	5	1	14	33.6	1	31.5	1	37.1	3	4	3	10	38.3	2	10	0	4	6	27.8	5	56.4
13	M	4	0	20	1	3	16	35.9	1	31.5	3	59.7	2	4	4	10	38.3	2	11	1	3	7	29.3	3	42.4
14	N	5	0	20	5	2	13	32.4	1	31.5	2	48.4	1	4	3	8	22.6	2	12	0	2	10	33.9	4	49.4
15	O	7	0	20	1	1	18	38.2	1	31.5	1	37.1	0	4	4	8	22.6	2	13	1	1	11	35.4	1	28.5
16	P	2	1	20	1	3	16	35.9	5	52.1	3	59.7	4	4	3	11	46.1	2	14	0	5	9	32.4	8	77.3
17	Q	2	1	20	5	2	13	32.4	8	67.4	2	48.4	3	4	4	11	46.1	2	15	1	4	10	33.9	4	49.4
18	R	4	2	20	1	1	18	38.2	9	72.6	1	37.1	2	4	3	9	30.4	2	16	0	3	13	38.5	7	70.3
19	S	5	0	20	5	3	12	31.3	6	57.2	3	59.7	1	4	4	9	30.4	2	17	1	2	14	40.0	2	35.5
20	T	3	1	20	1	2	17	37.0	6	57.2	2	48.4	0	4	3	7	14.7	2	18	0	1	17	44.6	6	63.4
21																									
22																									
23																									
24																									
25																									
26																									
27																									
28																									
29																									
30																									
31																									
32																									
33																									
34																									
35																									
36																									
37																									
38																									
39																									
40																									
	平均			20.0	2.6	2.1	15.4	35.1	4.7	50.3	2.1	49.0	2.0	4.0	3.5	9.5	34.4	2.0	14.6	0.5	3.0	11.1	35.5	4.5	52.9

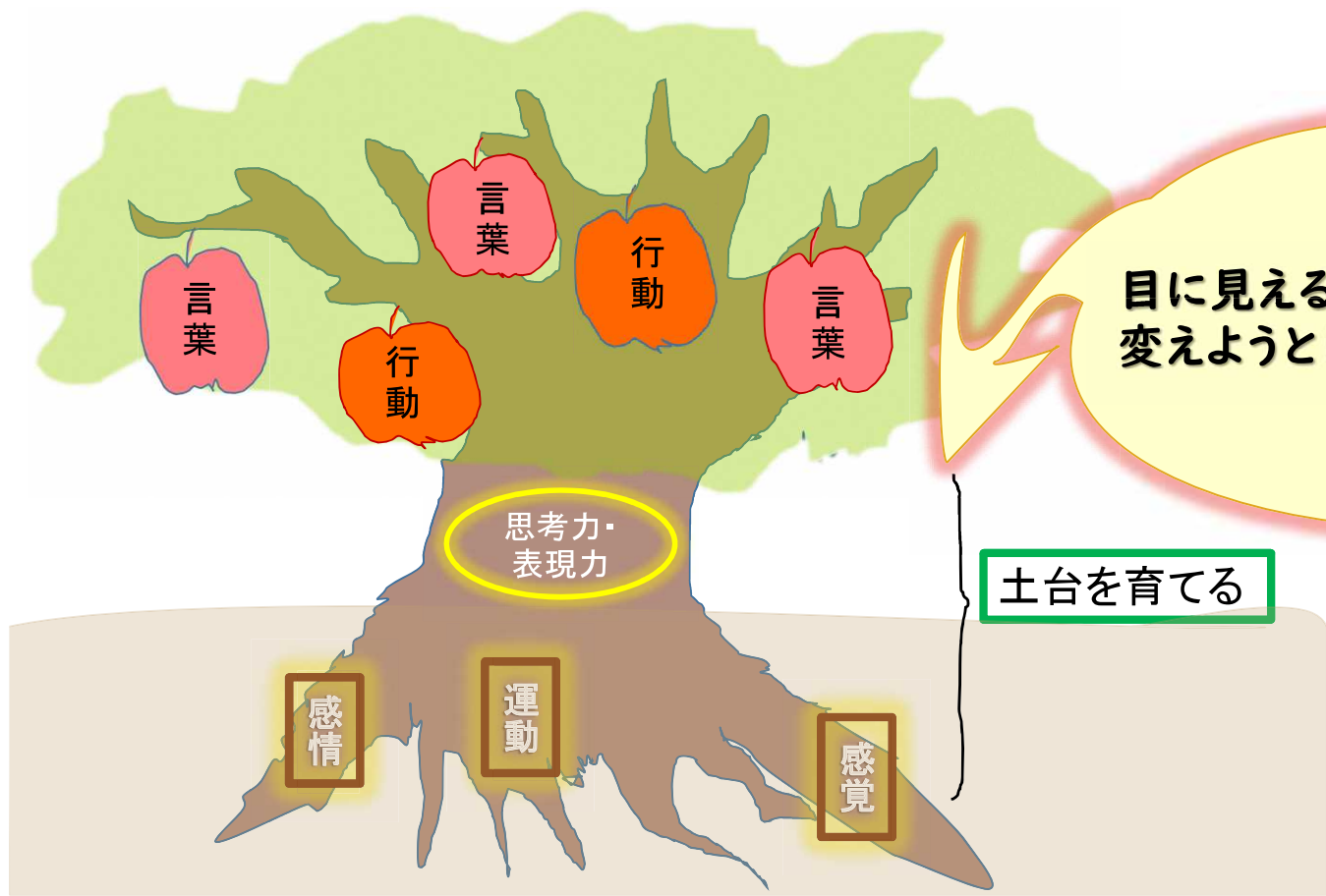
sample

【入力に当たって】
 ○まず、氏名欄に入力してください。その後、数値を入力すると標準得点が表示されます。**欠席の場合は、氏名欄には何も入力しないでください。**
 ○黄色(■)のセルに得点を入力してください。受けていない問題がある場合や、欠損値扱い(何点にするべきか判断が難しい場合など)する問題は、「-(ハイフン)」を入力してください。
 ○入力をする標準得点40以下は赤色(■)、標準得点60以上は青色(■)にセルの色が変わります。
 ※問題④は3点(満点)の場合、標準得点が60点以下でも青色にセルの色が変わります。
 ※問題⑤は「0」「1」を、問題⑥は「1」を入力すると赤色にセルの色が変わります。
 ※問題⑤、⑥はセルの色が青色に変わらず、右下のグラフにも表示されません。



気づきを手立てに
～アセスメントから見えたこと～





目に見える言葉や行動だけを変えようとしても**ダメ!!**

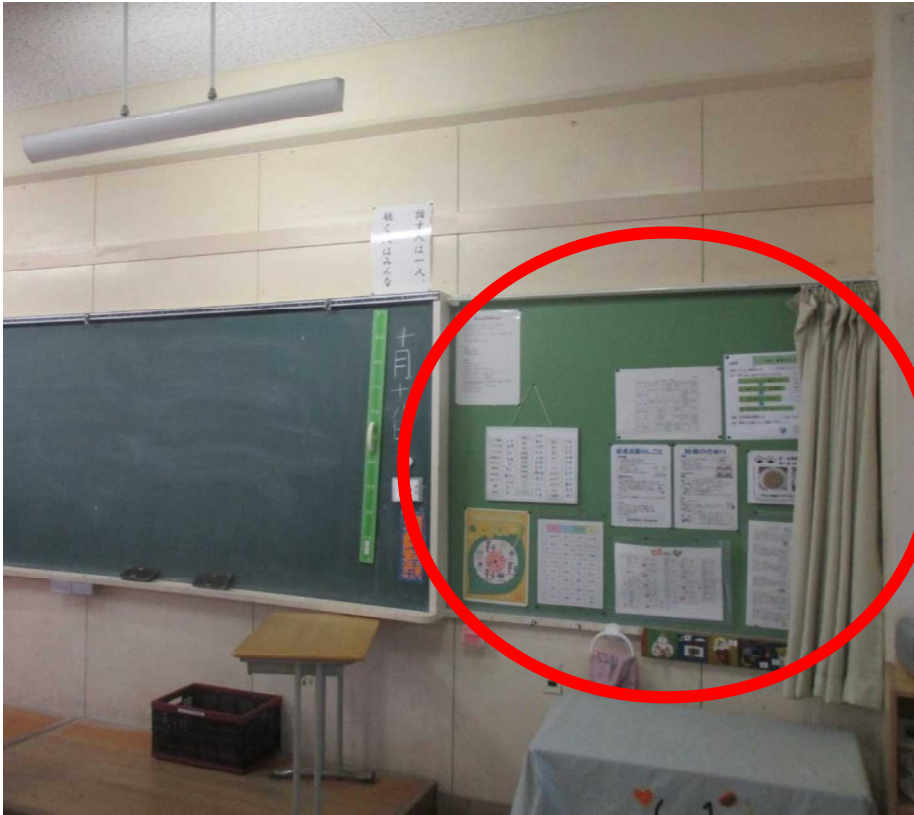
研究対象児童

- ①主に学習に困難さが見られる児童
- ②主に対人面に課題が見られる児童
- ③主に愛着、心理面に課題があると見られる児童
- ④主に行動面（多動や不注意傾向）に課題があると見られる児童

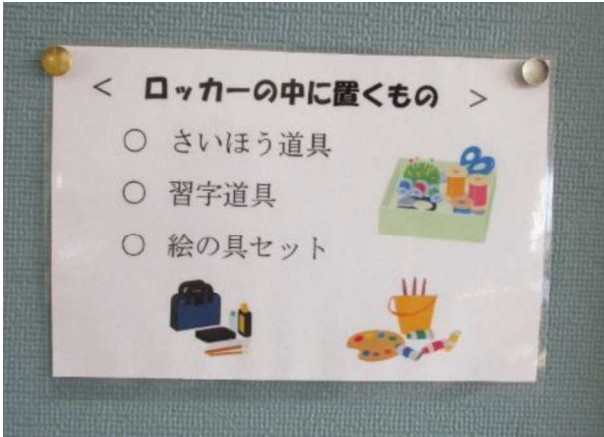
⇒自立活動の内容の付加を実施した。

基礎的環境整備

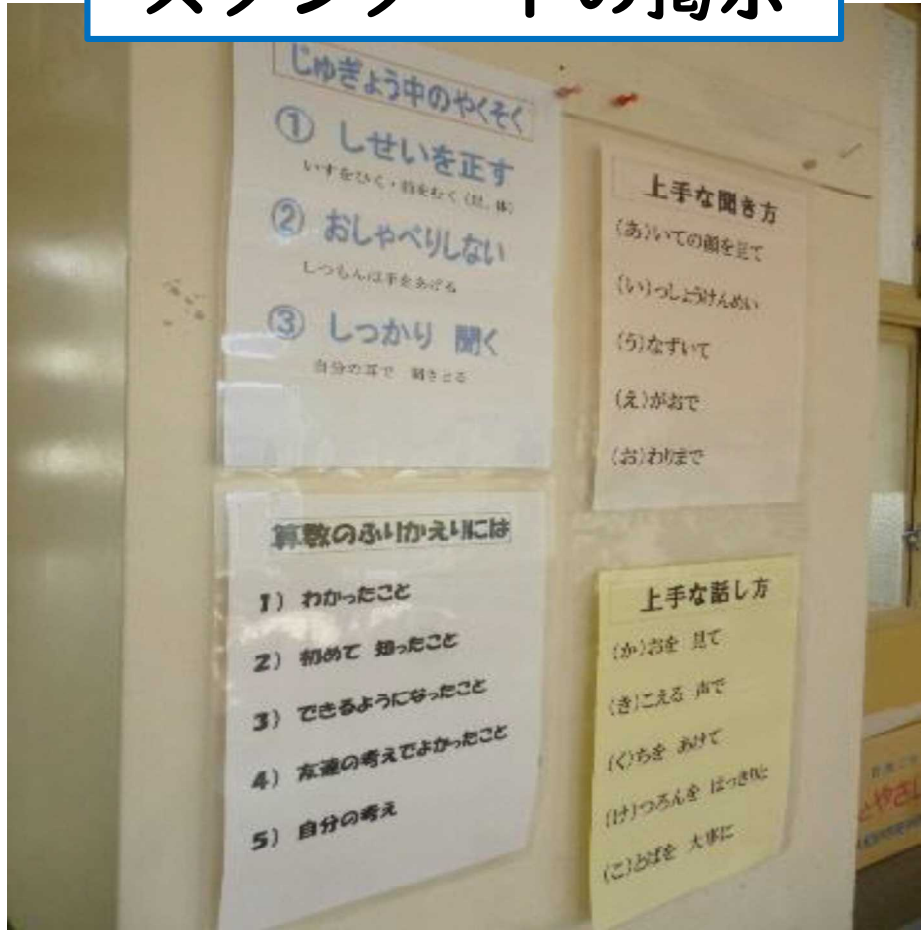
教室前掲示板



視覚支援



スタンダードの掲示



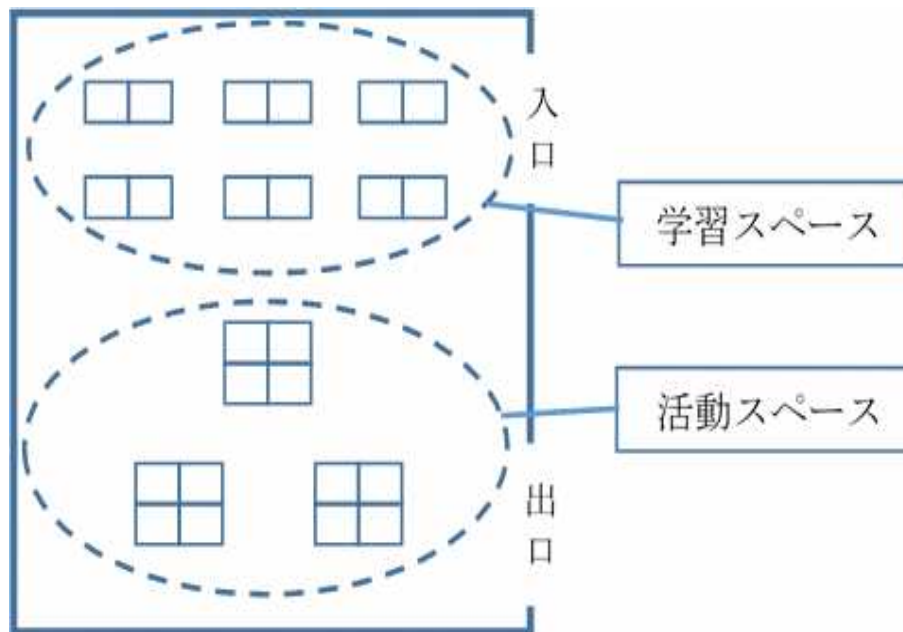
場の構造化		
1	子どもへの約束	教室内のものについては、一つ一つ置く位置が決まっている。(ボール、鉛筆削り等)
2		個人のロッカーの整理の仕方や机の中のお道具箱の整理の仕方を統一している。
3		廊下のフックに掛けるもの、机の横に掛けるものを統一している。
4		宿題等の提出する場所や方法が決まっている。
5		学校に置いておくファイルや教科書等を統一している。
6		学校に置いておくファイルや教科書等の置く位置が決まっている。
7	の指導者 掛け	作品は、後方や廊下に掲示し、画紙できちんと留めている。
8	明示	机を置く位置は、ビニールテープ等でわかりやすく示している。
刺激量の調整		
9	視覚刺激の排除	教室前面に不要なものを置かないよう配慮している。(棚の中のものが見えないようにカーテンなどをつけている)
10		教室前面の掲示物は、必要最小限なものに絞っている。
11	聴覚刺激の排除	教室内、教室外から刺激となるような騒音(水槽、机、廊下等)が入らないように配慮している。
12		ざわざわしていない静かな環境で学習できるようにしている。
13	整理整頓	教師用の机の上を整理整頓している。
14		学習に入る前に、子どもの机の上や机の周りを整理整頓させている。
15		学級図書を整備して、必要な子どもが活用できるようにしている。
16	心地よい体感	学習しやすいような温度、湿度になるように配慮している。
17		カーテンをひくなどして、外からの刺激を調節している。
18		子ども一人ひとりの机やいすの高さを合わせている。

視覚的な支援		
19	見通し	1日のスケジュールを教室内に明示し、確認している。
20		何をやるのかを絵や図、文章などで示し、子どもが自分で気づけるようにしている。(朝教室に入ってからすること、休み時間にすること、給食、掃除等)
21	することの明示	個人のロッカーや机の中のお道具箱の整理の仕方、机の横に掛けるものを図や写真で明示している。
22		掃除道具入れは、数を明示したり、しまい方を図示したりしてわかりやすくしている。
23	ルールの明示	学級全体のルール(声の大きさ、聞く姿勢、話し合いのルール等)をわかりやすく掲示している。
24		クラス内での役割(当番、係等)について行動の手順、仕方などがわからなくなったとき、実際に参照できる工夫(マニュアル、手順表等)をしている。
学級経営		
25	指導者の思い	クラスの目標を子どもたちによく見える場所に掲示している。
26		学級の状況に応じた机の配置にしている。
27	理解相互	一人ひとりを大切にしていることがわかるもの(できたの木、〇〇名人等)を掲示している。
安全面		
28	事故や怪我の未然の防止	窓際につくえや椅子等を置いていない。
29		荷物(水筒、本、移動黒板等)が落ちたり倒れたりしやすい場所がない。
30		扇風機やストーブは、安全な場所に置いている。
31		ストーブの周りに柵を設置している。
32		子どもの身長より高い場所に物を置いていない。
33		ドアの前に机等を置いていない。
34		の緊急時 対策

教室の環境整備

場の構造化		
1	約束	学習室に置いておくものの位置が決まっている。
2	設場の 定の	学年の実態に応じた形で、学習スペースと話し合いスペースを用意している。
3	明示	机を置く位置は、ビニールテープ等でわかりやすく示している。
刺激量の調整		
4	聴覚刺激 の排除	教室内、教室外から刺激となるような騒音(水槽、机、廊下等)が入らないように配慮している。
5		ざわざわしていない静かな環境で学習できるようにしている。
6	整理整頓	机の上や机の周りを整理整頓させている。
7		教室内が整理整頓させている。
8	心地よい 心感	学習しやすいような温度、湿度になるように配慮している。
9		カーテンをひくなどして、外からの刺激を調節している。
視覚的な支援		
10	明示	学習室の使い方のルールが掲示してある。
11		掃除道具入れは、数を明示したり、しまい方を図示したりしてわかりやすくしている。
安全面		
12	事故や怪我の 防止	窓際につくえや椅子等を置いていない。
13		荷物(水筒、本、移動黒板等)が落ちたり倒れたりしやすい場所がない。
14		扇風機やストーブは、安全な場所に置いている。
15		ストーブの周りに柵を設置している。
16		子どもの身長より高い場所に物を置いていない。
17		ドアの前に机等を置いていない。
18	防犯 緊急 の意	防犯ブザーが定位置(前の黒板横)にある。

学習室の環境整備



環境整備の拡充



特別活動

『特別の時間「のびのび」』

身体感覚を中心とした活動

ことばのやりとりを中心とした活動

記憶や情報伝達を中心とした活動

指導案の形式

特別活動学習指導案

(2) 対象児童について

	実 態	目 標	目標を達成するための手立て	自立活動の内容
年				
年				

(3) 本時の展開

時間	学習活動と内容	指導上の留意点および 全体への支援	用具など	対象児童の手続き されるつまずき	対象児童への手 立て	対象児童の 記録
① 心・身を守る （15分）	<p>① アイスブレイク</p> <p>②</p> <p>③ 評価の観点①</p>					
② やってみよう （15分）						
③ みんなの「いらねえ」 （15分）	<p>④ 振り返る</p> <p>⑤ ①本時の活動を振り返り、感想を 発表する。 ・自分や友達のがよかったところ を発表する。</p> <p>⑥ ②振り返りカードを書く。</p>					

ふりかえりカード作成

月	日	ふりかえりカード
	年	名前 ()
• 自分のいいね		

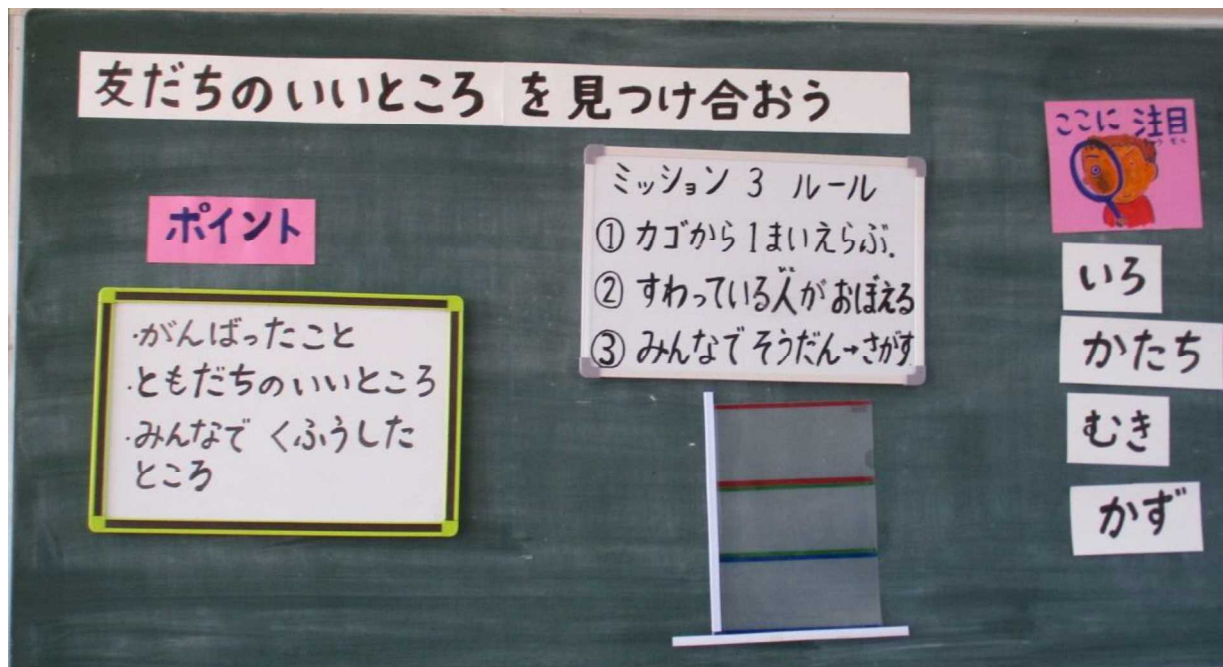
• 友達のいいね		



身体感覚を中心とした活動



ことばのやりとりを中心とした活動



記憶や情報伝達を中心とした活動

東ときわ台小学校 す・て・き プロジェクト
～ 一人ひとりが主人公！ みんなの力で すてきな 東ときわ台小学校にしよう！ ～



国語科の目標と 自立活動の目標の設定

(2) 対象児童の実態

J	単元目標	○優れた描写を取り出し、その効果について自分の考えを単語で言葉にすることができる。	
	単元目標を達成するにあたって予想されるつまずき	語彙が少ないので、思っている事をどんな言葉で表現したらいいかわからない。	
話す	・日常会話では、スムーズに話せるが、授業などでは、言葉が出にくかったり、つまりがちになったりする。	・安心できるような環境になるように、ペアトークや班活動などを取り入れる。	の関連 心理的安定 ①
聞く	・落ち着いて話をきいている。		
書く	・漢字が苦手。字形をとらえることが難しい。 ・漢字を覚えるのに時間がかかる。 ・自分なりに文章を書きすすめるが、ひらがなが多くなったり、誤字や脱字があったりする。	・漢字の小テストを行い、スモールステップで行う。 ・適切な漢字を選んで使えるよう、漢字のへんやつくりを意識できるように工夫し、意味と文字のつながりに気付けるようにする	環境の把握 ② 人間関係の形成③
読む	・文章内容の把握に課題	・読んだ後に、絵本などにより、自分の理解を確認できるようにする。	人間関係の形成③
言語力	・考えを表現する時に、語彙が少なく、言葉がでないことがある。	・言い換えたり、違う表現に置き換えて表現できるように、ヒントカードを用意する。	環境の把握 ②
K	単元目標	○優れた行動描写や情景描写の効果への関心を深め、読み進めようとする。 ○優れた描写を取り出し、その効果について友だちの意見などを参考に自分の考えを書くことができる。	
	単元目標を達成するにあたって予想されるつまずき	書く(ノートを写す)ことに時間がかかり、自分の考えを書く時間がなくなる。	
話す	・発表内容が焦点化されていないために、発表内容が伝わりにくい。 ・聞いたことをもとに、話を進めることが難しい。	・話し手が話している内容を聞き取れるように、例を示して言いなおすようにする。 ・授業で、説明などの機会を多く持てるようにする。 ・録音を聞くなどして、自分の話し方を振り返ることができるようにする。	アクション④ 人間関係の形成③
聞く	・強く注意を促さなければ、全体に向けた指示の理解が難しい。 ・他者の話を自分の想像や思い込みで聞いていることが多い。 ・見ることや聞くことなど、情報の取り込みが難しい。 ・指示や説明が複数あると、その中のいくつかを理解できないことがある。	・情報提示の際は、視覚情報も、聴覚情報も小分けにして順に提示する。 ・補助黒板を使用して、学習の流れなどを提示しておく。	環境の把握 ③ 人間関係の形成③
書く	・漢字は覚えたときには書けるが、時間がたつと漢字の用字なども忘れてしまう。 ・習字で筆先を円滑に動かすことが難しい。 ・ノートを書き写すときに、時間がかかり、自分の考えを書く時間がなくなる。 ・字形にこだわらず、意味が通じるように書く。	・時間を意識できるよう、タイマーなどを使用する。 ・一つ一つの漢字を丁寧に書きながら、支那の文化や歴史について学び、漢字の成り立ちや意味を学ぶ。	環境の把握 ④
言語力	・テスト等は正確に読み取って解答している。		

授業日時	記録者	目標	手立て	児童の様子	評価ABC
4月22日		「みちくさ」のはじめの感想を書く		CDを聞きながら、難読語句の仮名をつけるが、少々追いつけない。感想は自分なりに書き進めた。	B
5月14日		敬語の種類と使い方を理解する	たんざくを見て分類させる	音読は難語句の読みでつまる。アドバイスを聞いて自分で考えてできた。	B+
5月28日		スカイツリーのひみつはどれも人間の知恵の結晶か	自分が感心した事例について話せるようメモを作らせる。	音読は教科書をよく見てしっかりと読めた。自ら挙手し、メモを見て発表できた。	B+
7月9日		「学校を百倍すてきにする方法」アイデアいくつかから選択し、理由を考える。	聞き取って文章化の手助け	自分なりによいアイデアを考え理由もしっかりと書けていた。	B+
9月10日		「詩を味わおう」想像しながら工夫して音読しよう。	班で音読の練習に時間をとり自信を持ってできるようにする	読み味わう場面で進んで挙手。ラインを引く指示に対して個別指導の前に自分で考えて進めていた。	B+
9月17日		「手紙の書き方」手紙の形式を確かめ下書きしよう		音読は漢字でつまずく。先生の説明を聞いてそれを参考に自分で考えて書く。	B

課題

- ・「主に愛着、心理面に課題があると見られる児童」
「主に対人面に課題があると見られる児童」について
- ・児童の実態把握の方法と具体的な手立て
- ・自立活動の内容の理解

成果

☆児童への効果

- ・国語科での効果
- ・「学習に困難さが見られる児童」と、
「行動面に課題があると見られる児童」について
- ・学校生活アンケート
- ・社会性測定用尺度

成果

☆教師への効果

- ・児童理解、授業づくりを複数人数で
行うことでの学び
- ・授業づくり、基礎的環境整備への意識
- ・児童の困難さの理解と具体的な手立て



ありがとうございました!!